

礼拝「聖霊を受けなさい」

○(ヨハネ20:18~22,創世記2:7,エペソ4:22-24,招き:テトス3:4-6) 藤代 信牧師
序 マリアのメッセージ マグダラのマリアは、お墓から帰ると弟子たちに告げました。「私は主を見ました。」復活されたイエス様は、もう「ラビ(先生)」ではなく、「主(唯一の神、ヤハウェ)」でした。そして、イエス様が語られた言葉を伝えました。天使が神の言葉を伝えるように。イエス様は弟子たちを、同じ父から生れた「兄弟」だと言われました。キリストは本性上神である神の御子、私たちは恵みにより、聖霊によって新しく生れた神の子たちなのです。

1. 弟子たちに現れる しかし弟子たちには、マリアが早朝に伝えたことも、それどころか、イエス様が復活されたことも理解できず、敵対者たちを恐れて、1日中、鍵を全部かけて、家の中に留まっていました。1日が過ぎ、夕方になりました。だんだん暗くなっていくと不安は募ります。突然、不思議なことが起こりました。誰も入れないはずの部屋の真ん中に、誰かが立ったのです。まさか！ 誰だ？ 弟子たちは驚きました。イエス様は恐れる弟子たちに言われました。「平安(シャローム)があなたがたにあるように。」もう恐れることはありません。彼らは思い出したでしょう。嵐の海を踏みしめて、怯える弟子たちに「わたしはある」と御名を名乗ってご自身を現し、小舟に乗りこんでくださったイエス様。この主、神が共におられる。そこにこそ真の平安があります。

「恐れるな、わたしだ、わたしはあなたと共にいる。」「我は主なり！」

2. 「主」を見て喜んだ こう言って、イエス様は両手と脇腹を彼らにお見せになりました。弟子たちは「主」を見て喜びました。「主だ」「主だ！」マリアから聞いただけでは信じられなかった人たちが、今日の前にいるイエス様の内に、神を見ています！ 何という大きな喜びでしょう。

目の前に示された十字架の傷跡は、何を語っていたでしょう。この方こそ、両手を十字架に打ち付けられて、自分たちに代って犠牲の死を遂げた方。私たちはイエス様が捕らえられた時、イエス様を捨てて逃げてしまった(マタイ26:56)。何と卑怯で弱者だっただろう。しかしその御傷は語りかけていました。「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。イエス様は、私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。イエス様が受けられた懲らしめが私たちに平安をもたらした。」「(イザヤ53:4-5)

そして、あの時十字架の上で刺し貫かれたこの脇腹から、血と水が流れ出しました。血は神のいのち、水は聖霊を意味していました。十字架の上にお体が裂かれたことによって、聖霊が注がれる道が開かれたのです。イエス様は再び言われました。「平安があなたがたにあるように。」

3. 聖霊を受けなさい こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われました。

「聖霊を受けなさい。」「息を吹きかける」方とは一体誰でしょう？

聖書のはじめ、創世記2:7にこう書かれています。「神である【主】は、土の塵で人を造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。」イエス様は、人を造られた創造主だ！ それだけでなく、今イエス様は、人間に聖霊の息を吹き込んで、人間を内的に全く再創造してくだる神ご自身だ！ イエスは息を吹きかけて言われます。「聖霊を受けなさい。」

ここで霊父の証を振り返りましょう。1938年1月9日夕7時、復活のキリストが私の面前にお立ちになった。主は息を吹きかけて言われた、「聖霊を受けなさい。」キリストが吹きかけられる息に乗って、燃える火の玉のようなものが現れた。それは、「言」という輝く文字(御名)であった。その御名が私の唇に触れ、人格の核心に宿り留まった。その瞬間、神はご自身の御名と栄光を私の内に現された。「言・ロゴス・キリスト、神、聖霊、三位一体、実体！」「言は神なり、ロゴスは神なり！」このロゴスの内にいのちがあった(ヨハネ1:1,4)。いのち、いのち、永遠のいのち！ 私は神に出会った！

私たちも、御名によって聖霊を受けたとき、神と出会いました。しかし自分の場合は、霊父のように劇的な体験ではなかったと思うでしょうか。

山に上るときいつも思います。最初に道なき道を切り開いた人は大変だったでしょうが、一旦頂上への道が開かれるなら、その道を上っていけば、誰でも山頂に着くことができます。そのように、今は、聖霊を求める厳しく長い期間と、劇的な出会いが必ずしも必要ではなく、誰でもイエス様の神性とメシア性を信じて、御名によって聖霊を受けることができるようになりました。

大切なことは、霊父がそうされたように、内に宿られた御名を崇めて、魂の奥底に宿られたキリストを絶えず見続けることです。「言・キリスト、神、聖霊、三位一体、実体。この言(キリスト)の内にいのちがあった。」「言は神なり。」

4. 心の深みまで新しくされ 聖霊を受けると、どんなことが起るでしょうか？ 聖霊は、心の深みまで全く新しく生れ変らせてくださいます。死んだ魚はどんどん腐っていくように、聖霊を持たず、死んだ状態の人間の霊魂は腐敗していきます(エペソ4:22)。しかしいのちがあれば魚は激流をさかのぼっていきます。聖霊は私たちを生かす神のいのち、力です。聖霊が注がれるのは、人間がそれにふさわしいからでなく、「私たちの救い主である神のいつくしみと人に対する愛が現れた」からです。「神は、私たちが行った義のわざによってではなく、聖霊による再生と刷新の洗いをもって、私たちを救ってくださいました。神はこの聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。」「(テトス3-5) そして聖霊は、私たちを日々、魂の奥底から、栄光から栄光へと、内的にキリストの姿へと変えていきます(コリント二3:18) イエス様は息を吹きかけて言われます。「聖霊を受けなさい。」